

総合教育会議 会議録

平成28年度 第2回

- 1 日 時 平成28年 7月 1日 (金) 13時15分～13時25分
- 2 場 所 浦添市役所 庁舎7階 702会議室
- 3 議 題
議案第3号 当山小学校過大規模解消に向けた取り組みについて(現状報告)
【協議後、了承】

4 議事の概要

○事務局 (教育部総務課長 平良 淳)

皆さま、こんにちは。総合教育会議の事務局をしております教育部総務課の平良です。それでは、早速ですが、市長、会議の進行をお願いします。

○市 長 (松本 哲治)

本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまより、平成 28 年度第 2 回総合教育会議を開催いたします。本日は、教育委員会より、「当山小学校過大規模解消に向けた取り組みについて」協議の申し出がございました。早速ですが、協議内容について、教育委員会より説明をお願いいたします。

○教育委員長 (与儀 啓子)

本日は、お忙しい中、総合教育会議を開催いただきありがとうございます。では、当山小学校が過大規模校となった経緯と検討作業の取り組み状況についてご説明申し上げます。お手元の資料をご覧ください。当山小学校は、平成 22 年度より標準学級及び特別支援学級が 30 クラスを越える過大規模校となり、今日現在まで教室の増築や教職員の加配等により、教育環境の整備に努めてまいりました。しかしながら、今後 5 年間の児童推計においても、過大規模が引き続き解消される見込みがなく、学校運営において支障が出てきていることから、根本的な解消策について、教育委員会において昨年度より検討を進めているところでございます。

検討の第一段階として、通学区域の見直しについて昨年 8 月に、浦添市立学校通学区域等審議会へ諮問しましたが、審議会において、通学区域の見直しや

学校選択制導入によっても根本的解決にはならないとの答申をいただいたことより、現在、分離新設を含めた検討作業に入っております。

検討作業においては、内部職員で構成する当山小学校過大規模解消検討委員会を設置し、係長級で構成される作業部会にて、当山小学校区域の今後の児童推計に取り組んでいるところでございます。児童推計を固め、その後、解消に向けた具体的な方策について協議をし、今年の秋頃を目処に、教育委員会としての方針を出していく予定となっております。

今後、解消に向けて方向性を固めてまいります。いずれにおきましても、当山小学校の課題を速やかに解決していく上では、相当の財源確保等が不可欠であり、大きな要素となりますので、教育委員会単独で本事業を遂行することは不可能です。ぜひ、市長におかれましても教育委員会と一体となってお考えいただきたいと思っております。

当山小学校過大規模解消へ向けて、市長も共に検討に加わって下さるようお願い申し上げます、本日の協議題の説明とさせていただきます。

○市長（松本 哲治）

ご説明ありがとうございました。当山小学校の過大規模解消に向けた取り組みについて、理解いたしました。私としても、当山小学校の抱える課題については、関心を持って注視しており、教育委員会だけの問題ではなく、まちづくり全体の問題として捉えていくべきではないかと考えております。速やかに解消を図るためにも、市長部局も一緒になって協議に参加していく方向で協力してまいりたいと思います。

○教育委員長（与儀 啓子）

心強いお言葉、ありがとうございます。当山小学校の過大規模解消に向けて教育委員会としても、最大限の努力をしていきたいと考えておりますので、強力なお力添えをよろしく申し上げます。

○市長（松本 哲治）

わかりました。今後はお互いに連携を図りながら進めていくということを確認して、本日の第2回総合教育会議を閉会いたします。